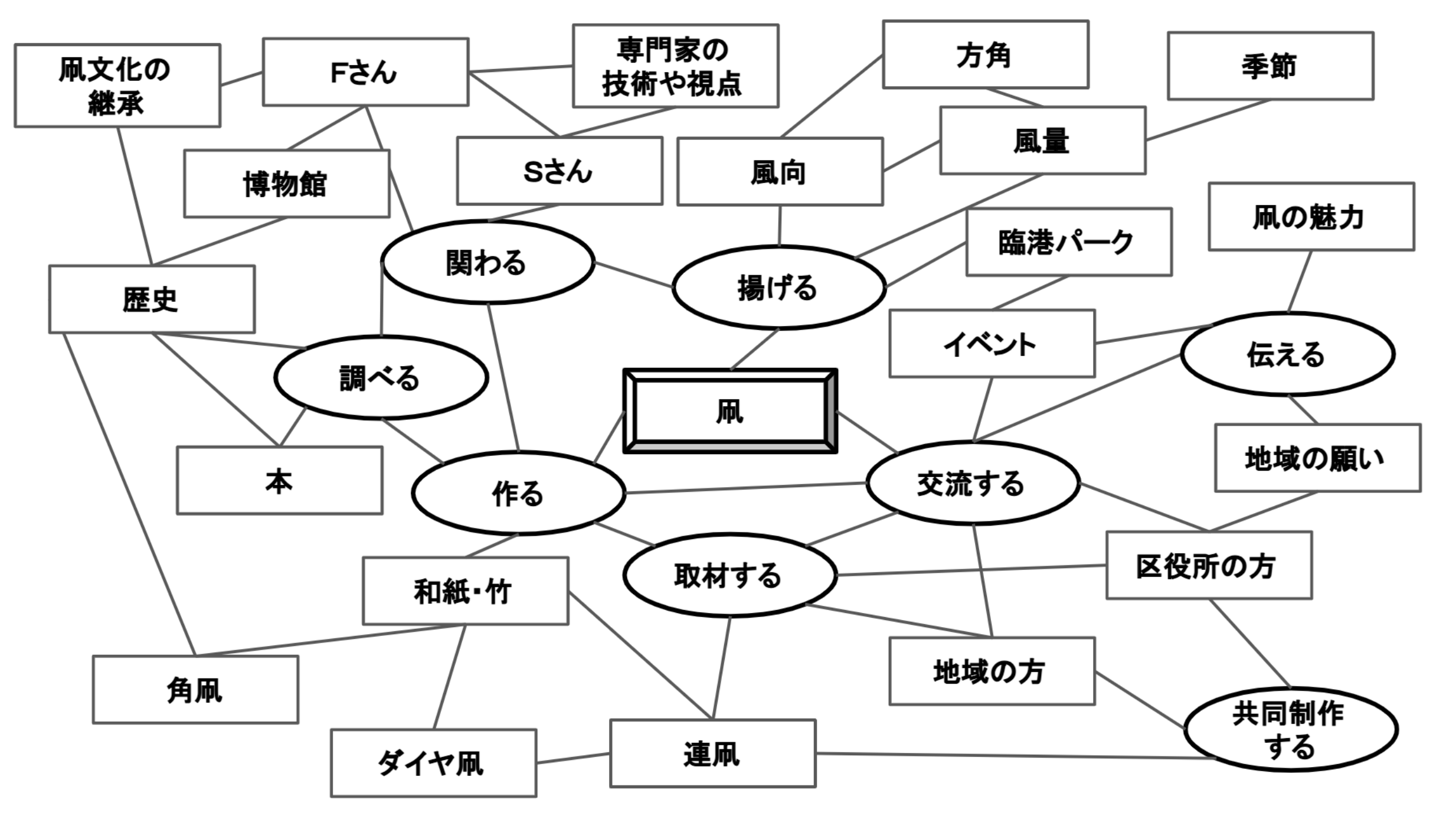




題材名：飛べ・翔べ・戸部 41風

担任自身のワクワク度！ ★★★

「総合」に対する子どもの思い・題材に対する子どもの思い

①その材がもつ、子どもにとっての魅力

※子どもにとって身近か・豊かな直接体験があるか・繰り返しの体験ができるか・活動が発展するか等

- 作る（図画的な要素と工作的な要素）、揚げる（科学的な要素）、試行錯誤する、調べる、専門家に聞く等、多様な学習活動が期待できる。
- 自分の興味・関心に合わせた風づくりができるとともに、学級で協力して一つの風を作ることもできる。
- 風が親しまれてきた背景まで学ぶことで、さらに自分たちの風づくりが発展する。
- 風が揚がったときや、まちの人と風と一緒に揚げたときに達成感がある。

②3月末のゴール(期待する子どもの変容) ※言葉・行動等、具体的に

- 1000年以上前から伝わっている風で、まちの人と同じ願いを込めて揚げられるなんてとてもすてきな。揚がったときの達成感、一緒に揚げた人との盛り上がり嬉しいな。
- 日本の伝統文化である風を、これからも受け継いでいくために、今の時代に合わせながら取り組んでいる鈴木さんはすてきな。自分たちもまちの伝統を守っていきたいな。

探究課題

願いを込めて揚げる風の魅力と風文化の継承を願う人々の思いや取組

学習材についての具体案(①⇔②⇔③を関連させて)

①学習対象(関われる人・もの・こと) 【何で学ぶか】 ※特に専門家との関わりを明確に

- 風(大風、連風、六角風等、日本の各地域の風や世界の風) ☆最終的な中心材は連風
- 和紙、竹ひご、風糸(どこまで本格的に作るか検討中)
- 日本の風の会 横浜支部 Sさん(打ち合わせ済)、風の博物館 Fさん(打ち合わせ済み)
- 風を揚げる場所(戸部小校庭・屋上、臨港パーク等)
- 風の歴史、風文化の継承を願う人々の取組
- 第一地区連合協議会、町内会の代表の方、西区役所(未連絡)

②単元の学習活動の流れ【どのように学ぶか】

小単元Ⅰ：今年の総合を決めよう！

- これまでの学習からもっと挑戦してみたいことを出し合い、今年の総合を決める。

小単元Ⅱ：ダイヤ風を作って揚げよう！

- ダイヤ風の作り方を調べて作る。
- 試しに揚げて、気付いたことを話し合い、分からないことを専門家に聞く。※専門家

小単元Ⅲ：いろいろな風を作って揚げよう！

- 自分の作ってみたい風について、作り方や起源、歴史を調べる。
- 試しに揚げて、気付いたことを話し合い、風づくりのポイントをまとめる。

小単元Ⅳ：自分たちの願いを込めた風を作ろう！

- どのような願いを込めて風を揚げたいか話し合う。
- まちの人の戸部のまちへの願いについてインタビューする。(町内会長等)
- 自分たちの願いとまちの方の願いから、揚げたい風を決め、作ったり揚げたりする。※専門家

小単元Ⅴ：願いを込めて、41風を揚げよう！

- 区役所の方や日本の風の会の方と協力して風イベントを開く。※専門家
- 今年の総合を振り返る。

③学習内容・概念的知識【何を学ぶか】

〈文化〉

- 風には地域に合わせた独自の形や用途があり、それぞれ人々の願いが込められて揚げられているということ。

〈ものづくり〉

- 風の揚げやすさは、素材や形による違いや、風の力やバランス等と関連していること。

〈キャリア〉

- 日本の風の会横浜支部の鈴木さんは、地域の人々が願いを込めて揚げる風の伝統を守りながらも、時代に合わせた工夫をしながら、風文化の継承に努めていること。

〈地域〉

- 戸部のまちを大切に思って仕事をしている地域の方や区役所の方がいること。また、自分たちの活動を温かく見守り、協力してくれる方がいること。

参考HPなど

- <https://www.jkakite.com/>



目指せ!! 41D・H 風!!

4年1組 39名 土田 大貴

1 単元の構想

(1) 子どもの思いと教師の願い

年度初めに、3年生の学習を振り返ると、「今年も、自分も友達もまちの人も楽しめる総合をしたい。」という意見が出た。そこで、様々な活動を調べたり、体験したりしていくうちに「風って作るのが難しいけれど、揚がると面白い!」「もっと空高く揚がる風を作りたい!」という思いを高めていった。

風作りや風揚げは、工作・図画・科学の三要素が組み合わさった遊びであり、幅広い活動が期待できる。また、各地域に根付く風文化を探るうちに、作り手や地域の願いを込めて揚げるができる風の面白さを実感できる。風作りや風揚げをしたり、風イベントを開いたりする活動を通して、風の魅力や風文化を未来へつなげようとするSさんやFさんの熱い思いに気付いてほしい。また、戸部のまちの方と一緒に風作りする中で、まちを大切に思う人々の気持ちを感じてほしい。そして、昔から受け継がれてきた身近な文化を大切にすることや、戸部のまちの人と一緒に楽しむことのよさを味わえるようにしたい。

(2) 学習材について

本単元の探究課題：願いを込めて揚げる風の魅力と風文化の継承を願う人々の思いや取組

学習対象	学習内容	期待する子どもの変容
・ 風 ・ 風揚げ ・ 風の博物館 <文化>	風には地域に合わせた独自の形や用途があり、それぞれ人々の願いが込められて揚げられているということ。	風って1000年以上も前からあって、全国の地域に受け継がれている風も、世界の風もそれぞれ作った人やその地域の「願い」が込められているんだね。
・ 風作り <ものづくり>	風の揚がりやすさは、素材や形、風の力や受け方、様々なバランスなどに関連していること。	左右対称であることが大事。風を受けつつも、風が抜けていくような作り方が重要だ。丁寧に真剣に作るから成功するよ。
・ 日本の風の会 Sさん ・ Fさん <キャリア>	日本の風の会のSさんやFさんは、地域の人々が願いを込めて揚げる風の伝統を守りつつ、時代に合わせた工夫を重ねながら、風文化の継承に努めていること。	SさんもFさんも、自分が魅力的だと思った風文化を守るために、作る・揚げる・見る楽しさを感じられるように工夫してイベントを開いているんだね。
・ 西区役所 ・ 戸部のまちの人々 <地域>	戸部のまちを大切に思って仕事や生活をしている区役所の方や地域の方がいること。また、自分たちの活動を温かく見守り、協力してくれる方がいること。	区役所の方は、「つながり」を大切に町づくりをしているんだね。戸部のまちの人もこのまちが大好きで、人と人とのつながりをつくるために活動しているよ。

(3) 単元目標

「自分たちや地域の方の願いを込めた風と一緒に楽しみたい」という夢の実現に向けて、風作りや風揚げをしたり、風イベントを開いたりする活動を通して、願いを込めて揚げる風の魅力や風文化の継承を願う人々の思いや取組に気づき、願いを込めた風がより高く揚がるために必要なことについて考えることができ、これからも昔から続く身近な文化を大切にしたり、戸部のまちの人と一緒に楽しむことに取り組んだりしようとする。

(4) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①風の揚がりやすさは、素材や形、風の力や受け方、様々なバランスなどに関連していることや、風には地域に合わせた独自の形や用途があり、それぞれ人々の願いが込められて揚げられていることを理解している。	①自分たちが調べたことや日本の風の会のSさんやFさんの話を基に、必要なものを準備したり、取組の順番を決めたりして計画を立てている。	①友達と一緒に活動することのよさを感じ、自分や友達の得意なことに合わせて役割分担をしながら、風作りや風揚げに取り組もうとしている。
②SさんやFさんは、地域の人々が願いを込めて揚げる風の伝統を守りつつ、時代に合わせた工夫を重ねながら、風文化の継承に努めていることに気付いている。	②作りたい風に合わせて本やインターネットで調べたり、SさんやFさんと関わりながら情報を集めたりするとともに、風作りの過程や風揚げの結果を種類ごとに分類しながら情報を蓄積したりしている。	②SさんやFさん、地域の方、友達と自分の考えを比べたりよさや違う点を見つけたりしながら、よりよい風の材料や作り方、絵や文字のデザインを見出そうとしている。
③安全に配慮して用具や材料の準備、片付け、整理整頓をしたり、それらを適切に扱ったりするとともに、正確に角度や長さを測定している。	③より高く揚がる風、自分たちや地域の方の願いを込められる風を目指して、材料や作り方、絵や文字のデザインを比較しながらよりよい風の作り方を検討している。	③繰り返し風作りや風揚げをして目指す風に近づけることができた自分の成長や風文化についての理解を深めた自分の変容を自覚しながら、活動を振り返ろうとしている。
④地域の方と風揚げや風作りを一緒に楽しむことができたのは、風文化を探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	④戸部のまちの人と一緒に風作りや風揚げを楽しむために、相手や目的に合わせて理由付けしながら風の作り方やイベントの方法を選んでいる。	④願いを込めた風で戸部のまちの人と一緒に楽しみたいという目的に向けて、繰り返し風作りや風揚げをしようとしている。

(5) 単元の学習活動の流れ

小単元の学習課題 ○学習活動（評価）・期待する変容	【学びどころ】 ●教科等との関連
I 今年の総合を決めよう！ ⑤	
○3年生の学習を振り返り、やりたい活動を出し合う。 ・今年も自分も友達もまちの人も楽しめる総合にしたいな。 ○風作りや風揚げを体験し、計画を立てる。（思①） ・風作りって難しい！でも揚がると楽しい！もっと空高く揚がる風を作りたいな。基本のダイヤ風から作ってみよう！	【小単元Iの学びどころ】 3年生の学習を振り返り、試行錯誤を繰り返したり、友達と協力して高め合ったりする活動を通して戸部のまちの人と一緒に楽しみたいという思いをもつ。 ＜地域＞
II ダイヤ風を作って揚げよう！ ⑬	
○風作りや風揚げをして気付いたことを話し合う。（主①） ・やっぱりうまく揚がらないな。形が左右対称ではないから、バランスが悪いんじゃないかな。竹ひごの曲がり具合も重要だと思うよ。 ○風作りや風揚げについての疑問点をSさんに聞いたり、一緒に作って揚げたりする。（知①、思②） ・30年も風作りをしているプロの作る風はよく揚がってすごいなあ。Sさんのように細かいところにこだわって、真剣に作ろう！まずは基本を大切に！次はいろいろな風を作りたい！	【小単元IIの学びどころ】 風の揚がりやすさは、素材や形、風の力や受け方、様々なバランスなどと関連していることが分かる。 ＜ものづくり＞ →●算数「角の大きさ」「垂直、平行と四角形」 分度器を用いて角の大きさを測定したり、必要な大きさの角をつくったりすることができる。また、直線の垂直や平行の関係を理解できる。
III いろいろな風を作って揚げよう！ ⑬	
○日本全国の風や、世界の風について調べる。 ・調べてみると、日本でも世界でもたくさんの風があることが分かったね。本物の風も見たいな。 ○風の博物館を見学し、Fさんにインタビューする。（知①） ・全国の風も、世界の風もそれぞれ作った人やその地域の「願い」が込められているってFさんが言っていたよ。 ○いろいろな風を作ったり揚げたりする。（知③） ・Fさんにおすすめしてもらった風を作ってみたけれど、どの風も基本は同じで、バランスが重要だね。	【小単元IIIの学びどころ】 風には地域に合わせた独自の形や用途があり、それぞれ人々の願いが込められて揚げられていることを理解する。 ＜文化＞ →●社会「地域で受けつがれてきたもの」 県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解する。
IV 自分たちの目指す風を決めよう！ ⑦	
○イベントで揚げる自分たちの目指す風について話し合う。 ・メインの風は何かいいかな。作る人やその地域の「願い」を込めるのが風だから、まちの人の願いも聞いてから決めよう。 ○西区役所や地域の方に、戸部のまちへの思いを聞く。 ・区役所の方は、「つながり」を大切にしているんだね。戸部大通り商店街のOさんやSさんも同じことを言っていたよ。 ○風揚げイベントで揚げる風を決める。（主②） ・「戸部のつながり」を大切にしたい！連風を揚げようよ！	【小単元IVの学びどころ】 まちを大切に思って仕事や生活をしている区役所の方や地域の方がいることに気付く。 ＜地域＞ ●国語「聞き取りメモのくふう」（6時間） 必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつことができる。
V 自分たちの願いを込めた風を作ろう！ ⑬	
○風に描く絵や書く文字について話し合う。（思③） ・戸部のまちの人たちの笑顔も描きたい！まちの人と一緒に風を作れたらいいな。 ○地域の方と風作りや風揚げをする。（知②、主④） ・一緒に絵を描いたり文字を書いたりして、自分たちとまちの人の願いを込めたすてきな連風ができた！Sさんにもアドバイスをもらって、風と風の距離を調節できたね。Sさんがイベントに向けてもアドバイスをくれたけれど、来た人が作って揚げて見て楽しめるようにいろいろな工夫をしていることが分かったよ。いよいよイベントに向けて準備開始だ！	【小単元Vの学びどころ】 Sさんは、地域の人々が願いを込めて揚げる風の伝統を守りつつ、時代に合わせた工夫を重ねながら、風文化の継承に努めていることに気付く。 ＜キャリア＞ ●国語「クラスみんなで決めるには」（6時間） 必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつことができる。
VI 願いを込めて、41風を揚げよう！ ⑬	
○風揚げイベントの計画・準備を進める。（思④） ・メインの風は、連風だけれど、他の風も揚げたいね。風作りの体験会も開きたいな。 ○イベントを開き、今年の総合を振り返る。（知④、主③） ・風作りも風揚げも、両方楽しんでもらえてよかったな。連風が揚がったときの歓声は忘れない！自分たちが頑張ったのはもちろん、日本の風の会のSさんやFさん、地域の方や西区役所の方に協力してもらったおかげだね。昔から続く文化にも風のようにすてきなものがたくさんある。これからも大切にしていきたいな。	【小単元VIの学びどころ】 地域の方と風揚げや風作りを一緒に楽しむことができたのは、願いを込めて揚げる風文化を探究的に学習してきたことの成果であることに気付く。 ＜地域＞ →●書写「手紙—学習発表会の案内の手紙」 手紙の形式を理解し、文字の大きさや行の中心に気をつけて書くことができる。

2 小単元構想（抜粋）

II ダイヤ風を作って揚げよう！（全16時間）

(1) 小単元目標

風作りや風揚げの基本を学ぶために、ダイヤ風を作って揚げたり、風作りや風揚げについて疑問に思ったことを日本の風の会横浜支部のSさんに質問したりする活動を通して、本やインターネットで調べたり、Sさんと関わりながら情報を集めたりするとともに、風作りの過程や風揚げの結果を種類ごとに分類しながら蓄積した情報からよりよいダイヤ風の作り方や揚げ方を見出すことができ、風の揚げやすさは、素材や形の違いや、風の力やバランスなどと関連していることに気づき、友達と一緒に活動することのよさを感じたり、自分や友達の得意なことに合わせて役割分担をしたりしながら、風作りや風揚げに取り組もうとする。

(2) 小単元の学習活動の流れ

	学習課題 ○学習活動（評価） ・期待する変容＜見取りの視点＞	☆手立て ●教科等との関連
課題をもつ	ダイヤ風を作ってみよう！ ④ ○本やインターネットで調べてダイヤ風を作り、試しに揚げる。 ・本に書いてある通り作ってみたけれど、思ったようには揚がらないな。作り方が悪いのかな。揚げ方が悪いのかな。 ＜思い・願い＞ ○ダイヤ風を作ったり揚げたりして気付いたことや思ったことを話し合う。 ・左右対称に作れていないからバランスが悪いんだと思うよ。次はバランスよく作りたいな。図をよく見てみると、竹ひごも少し曲がっているよね。私が作っているのはまっすぐになっていた。	☆手本と作った風を比較できるように、一人ひとりにダイヤ風の資料を配付する。 ☆図や写真に書き込みながら課題を分析したワークシートを全員で共有する。
	安定して揚がるダイヤ風を作ろう！ ⑪ ○改めてダイヤ風を作り直し、揚げる。 ・左右対称に作ったし、少し竹ひごを曲げてみたけれど、上手に揚がる人と揚がらない人がある。作った風を見比べたり揚がっている様子を動画で撮影して確認したりしてみたけれど、どうしても理由が分からない。プロに聞いてみようよ。 ＜情報の収集＞ ○風作りや風揚げについての疑問点をSさんに聞いたり、一緒に作って揚げたりする。（思②） ・やっぱりプロはすごいな。左右対称にする作り方、竹ひごの曲げ方、ボンドの付け方までこだわりがあるし、ものすごく丁寧に作っていた。Sさんが言っていて大切だと思って思ったことは、「風作りは揚げるときが本番なのではなく、揚げるまでの準備が大事」ってこと。早く揚げたくて適当に作っていたのかも。長さや角度等、丁寧に測って、作り方にこだわりたいな。 ＜情報の収集＞ ○Sさんとの活動を振り返り、風作りや風揚げのポイントを話し合う。 ・左右対称に作るためには、半分に折って切ればいいんだね。竹ひごを水につけておけば、次の日曲がりやすくなるって言っていたよ。ボンドは切るようにつけるって聞いていた。あとつけすぎがよくないことも分かったよ。～さんが言うように、Sさんの技術もすごいけれど、真剣に丁寧に作ろうとするSさんの心もすごいと思った！まずは基本を大切に、真似して作ってみよう！ ＜整理・分析、対話＞ ○Sさんに教わったことを基に、改めてダイヤ風を作り、揚げる。（主①） ・私は長さや角度を測るのが得意だけど、～さんはボンドで貼るのが上手だから、役割分担して作ろう。すごい！やっぱりSさんの言う通りに作ったら空高くきれいに揚がったよ。上手にできたダイヤ風をSさんに見てもらおう！ ＜まとめ・表現、協働＞	☆前回との比較ができるように作った風や揚がっている様子を動画や写真で蓄積するように促す。 ☆風作りの基本と、こだわりについて話をさせていただくように事前に打ち合わせをしておく。 ☆長さや角度の測り方、竹ひごの曲げ方等、項目ごとに分類して整理するとともに、風作りを通してSさんがこだわっていることを強調して板書する。 ●分度器を用いて角の大きさを測定したり、必要な大きさの角をつくったりすることができる。直線の垂直や平行の関係を理解できる。（算数）
追究する	自分たちの目指す風になったか振り返ろう！ ③ ○自分たちの目指すダイヤ風に近づいたかを話し合う。（知①） 【小単元IIの学びどころ＜ものづくり＞】 ・5月のころは作り方も揚げ方もこだわっていなかったけれど、Sさんに教えてもらったり、繰り返し友達と協力しながら作ったりして、できることが増えたよね！やっぱり長さや角度を丁寧に測って和紙を切ったり竹ひごの付ける位置や曲げ方を調節したりして、こだわって作ったからきれいに揚がったんだよね。真剣に作れば、風は揚がる！ ＜自己理解、気づき＞ ○次に作ってみたい風について話し合う。 ・次は本に載っている他の風も作ってみたい。まずは調べてみよう！ ＜思い・願い＞	【小単元IIのしかけ】 ☆Sさんに教わった風作りの基本を自覚できるように、ダイヤ風が空高くきれいに揚がった理由を問い返したり、関わる子どもの発言を強調して板書したりする。 ☆Sさんの話を基に実現可能な風を事前に調べておく。

III いろいろな凧を作って揚げよう！（全16時間）

(1) 小単元目標

いろいろな凧を作って揚げたり、SさんやFさんの話を聞いたりする活動を通して、より高く揚がる凧、自分たちの願いを込められる凧を目指して、材料や作り方、絵や文字のデザインを比較しながらよりよい凧について考えることができ、凧には地域に合わせた独自の形や用途があり、それぞれ人々の願いが込められて揚げられていることを理解し、自分や友達の得意なことに合わせて役割分担をしながら、凧作りや凧揚げに取り組もうとする。

(2) 小単元の学習活動の流れ

	学習課題 ○学習活動（評価） ・期待する変容＜見取りの視点＞	☆手立て ●教科等との関連
課題をもつ	作ってみたい凧を決めよう！ ③ ○本などで作ってみたい凧について調べ、実際に作って揚げる。 ・角凧は、ただの長方形だから簡単だと思っていたけれど、難しい！ ＜思い・願い＞ ○作ってみて気付いたことや思ったことを話し合う。 ・こま凧も角凧もそうだけれど風を受け流す反りがあった。いろいろな凧を作って揚げれば、どの凧にも大切なことが見えてきそうだ！ ＜課題の設定＞	☆材料や手順に注目して、難易度を提示する。 ☆いろいろな凧をそれぞれが作ることの価値を確認する。
	空高く安定して揚がる凧の作り方や揚げ方の共通点を見つけよう！ ⑥ ○凧ごとのグループに分かれて凧を作ったり揚げたりする。 ・左右対称や反りを意識して作ったら、安定して揚がるようになったよ。角凧はダイヤ凧と違って、糸目っていうのがあって、この糸の結び方も重要そうだな。 ＜情報の収集＞ ○作ったり揚げたりして気付いたことや思ったことを話し合う。 ・違うグループの話を聞くと、どの凧も左右のバランスや反りが重要ってことが改めて分かったね。ダイヤ凧は、骨の交差するところが中心の近くにあって、こま凧は違うね。なんだかバランスが悪そうだけれど揚がるんだよね。糸目もどうしたらよいか分からないな。 ＜整理・分析、対話＞	☆ダイヤ凧で学んだことと、新しく分かったことを整理して記録できるワークシートを用意する。 ☆それぞれの凧の共通点と相異点をベン図のような形で整理して板書する。
追究する	もっと凧作りや凧揚げに大切なことを学ぼう！ ⑥ ○Sさんに話を聞いたり凧の博物館を見学したりして、疑問点を調べる。 ・骨が交差するところは、凧の縦の長さに対して三分の一の高さにあるのが基本なんだって！凧の博物館では、Sさんに教わったことを大切に見学したら、全部そうになっていたことが分かった！Fさんも言っていたけれど、どの地域の凧もそれぞれ願いを込めて揚げられてきたんだね。自分たちも揚げる凧に願いを込めて揚げたいな。 ＜情報の収集＞ ○SさんやFさんの話から凧作りや凧揚げで大切にしたいことを話し合う。 ・骨の交差する位置まで細かく見てはいなかった。自分がどんな絵や文字をかきたいか考えていなかった。でも、凧の歴史を調べてみると、角凧には「子どもの成長」、六角凧は「健康」、連凧は「地域の団結」など、地域によってそれぞれ願いが込められていることが分かったよ。自分たちも誰かの何かを願って揚げる凧を作りたいな。 ＜整理・分析＞ ○大切にしたいことを意識して、改めて凧作りや凧揚げをする。（知③） ・僕の作る凧は、生まれたばかりの弟の成長を願って作ってみたよ。和紙を切ること、絵や文字を描くことなど、得意なことに合わせて分担したら上手に作れたね。願いを込めて作った方が、凧を丁寧に大切に作れるし、そのおかげで空高く揚がる！ ＜まとめ・表現、協働＞	☆凧作り共通するポイントと、それぞれの凧特有のポイントを分けて説明してもらるように、事前にSさんと打ち合わせをする。また、凧の歴史に触れながら、凧に願いを込めることの大切さについて話してもらるように、事前にFさんと打ち合わせをする。 ☆願いに合わせた絵や文字をデザインしている子や、願いを込めたからこそ大切に作っている子の姿を価値付ける。
振り返る	Sさんに凧を見てもらおう！ ③ ○作った凧や凧揚げの様子をSさんに見てもらい、アドバイスをもらう。 ・丁寧にこだわって作っていること、願いを込めて作っていることを褒めてもらえた！6月より成長しているって言ってもらえて嬉しいな。繰り返し作ったり揚げたりしたおかげ。諦めずに努力してよかった！ ＜自己理解＞ ○これまでの凧作りや凧揚げを振り返る。（知①） 【小単元IIIの学びどころ＜文化＞】 ・願いを込めて絵や文字などのデザインを工夫しながら凧を揚げるができるようになった。凧は、みんなで協力して作ったときの達成感や、揚げたときのわくわく感が魅力。あと、自分たちの願いを込めて揚げられるところがすてきな。3月の凧イベントでは、自分たちの願いはもちろん、まわりの人の願いが込められた凧を揚げられたらいいな。 ＜気づき、思い・願い＞	☆6月の姿と比較して、成長を価値付けてもらえるように、Sさんをお願いする。 【小単元IIIのしかけ】 ☆凧作りや凧揚げの過程で感じた凧の魅力について感じている子の発言を価値付けたり、全体化したりするとともに、強調して板書する。

Ⅴ 自分たちの願いを込めた凧を作ろう！（全13時間）

(1) 小単元目標

「戸部のまちのつながり」という願いを込めた連凧を作るために、Sさんに話を聞いたり連凧を作ったりする活動を通して、Sさんが凧文化の継承に努めていることや願いを込めて揚げる凧の魅力に改めて気づき、自分たちや地域の方の願いを込められる凧を目指して、絵や文字のデザインを比較しながらよりよい凧の作り方を検討することができ、願いを込めた凧で戸部のまちの人と一緒に楽しみたいという目的に向けて、繰り返し連凧作りをしようとする。

(2) 小単元の学習活動の流れ

	学習課題 ○学習活動（評価） ・期待する変容＜見取りの視点＞	☆手立て ●教科等との関連
課題をもつ	自分たちの願いを込めた連凧を作る計画を立てよう！ ①	
	○これまでに連凧を作った経験から、課題を話し合う。 ・100枚ぐらいの連凧を作りたい！10枚までの連凧を作ることはできたけれど、それ以上の連凧はなかなか難しかった。いちばん後の凧が重要であることは分かっているけれど、糸目糸や連結糸の工夫が必要かもしれないね。Sさんに聞いてみよう。 ＜思い・願い、課題の設定＞	☆小単元Ⅲで連凧を作った経験を振り返ることができるように、クラウド上に写真や動画を蓄積しておく。
追究する	空高く安定して揚がる連凧を作ろう！ ⑥	
	○Sさんにたくさんの連凧を作るコツを聞く。 【小単元Ⅴの学びどころ＜キャリア＞】 ・糸目の位置は、他の凧と同じように上から3分の1のところを意識してつけられればいいだね。連結糸はできる限り中心を意識して通す必要があるんだね。4-1が凧イベントを開きたいと伝えたら、協力してくれるって言っていたよ。Sさんも凧をこれからの時代にも残すために、凧の魅力を感じてもらおう工夫をしているって言っていたよ。私たちの揚げる連凧や他の凧でも魅力を感じて楽しんでもらえるように頑張りたいな。 ＜情報の収集、気づき＞	【小単元Ⅴのしかけ】 ☆連凧を作るコツに加えて、Sさんが凧イベントを開くときに大切にしていることや、凧文化を後世へ残していきたいという思いを話してもらえようように打ち合わせをする。
	○Sさんに教わったことを基に、連凧を作ったり揚げたりする。 ・Sさんに教えてもらった糸目糸と連結糸のつけ方を意識して結ぶことができたよ。どれか一つでも手を抜いたら揚がらない。たくさんあるけれど、一つ一つ丁寧に作ることができてよかった。 ＜整理・分析、まとめ・表現＞	☆小単元Ⅱで学んだ「丁寧に作ること」「正確に作ること」を掲示する。
	自分たちの願いを込めた絵や文字を決めよう！ ⑥	
	○西区役所の方や地域の方へのインタビューを振り返る。 ・商店会会長のOさんは、商店会同士のつながりはもちろん、お店の人とお客さんとのつながりを大切にしているって言っていたね。社会福祉協議会のKさんは、このまちをこれから支えていく子どもたちとのつながりを大切にしているって言っていた。区役所の方は、お祭りなど、人の集まる場づくりに力を入れているって言っていたね。 ＜情報の収集＞	☆地域の方や区役所の方の思いを鮮明に思い出せるように、小単元Ⅳでのインタビューを動画や掲示資料として共有する。
振り返る	○「戸部のまちのつながり」という願いを込める方法について話し合う。 ・私もお店の人の温かさが好きで、そこにつながりを感じるよ。だからお店の人と自分の笑顔を絵で表したいな。僕は帰りにいつも見守ってくださる守り隊の方とのつながりをすごく感じる。だからその方への感謝を文字で表したい。まちの方と一緒に作るのもいいんじゃないかな。空高く揚げると見えなくてもいいかもしれないけれど、見えるか見えないかではなくて、そこに気持ちを込めて作ることに意味があると思う。 ＜整理・分析、対話＞	☆地域や区役所の方のどのような思いに共感し、どのような方法（絵や文字等）で表現しようとしているのかを関連付けて板書する。
	○区役所の方や地域の方と一緒に、絵や文字をかき、連凧を完成させる。 ・まちの人と一緒に絵や文字をかくのは楽しかったな。とっても絵が上手な人、書道をやっている人がいて、すごかった。こうやって一緒に作るのも、「つながり」を感じるととてもすてきな機会だったと思う。完成したから、Sさんやまちの人に見てもらおうよ。 ＜まとめ・表現、協働＞	☆小単元Ⅳのインタビュー活動に関わった方に参加いただけるように事前に打ち合わせをする。
	Sさんや地域の方に自分たちの連凧を見てもらおう！ ②	
	○完成した連凧をSさんや地域の方に見てもらう。 ・凧が揚がったときに、Sさんやまちの人が「おお～！」「すごい！」「きれい！」「ありがとう！」って言ってくれた。とても嬉しいな。Sさんやまちの人、区役所の方の協力があってすてきな連凧ができたな。 ＜自己理解＞	☆たくさんの人の喜びを実感できるように、凧を見ている人たちの様子を動画や写真で共有する。
	○自分たちの目指す連凧になったかを振り返る。 ・「まちのつながり」を表す連凧が作れたと思う。凧そのものや絵・文字はもちろんだけれど、揚がったときに一緒に空を見上げていたり、一緒に「すてきな」って思える場が「つながり」って感じがしたよ。2・3月のイベントに向けて準備を頑張りたい！ ＜気づき、思い・願い＞	☆絵や文字に表現することだけでなく、その場の雰囲気を感じ取っている子の発言を取り上げて全体化する。

VI 願いを込めて、41凧を揚げよう！（全13時間）

(1) 小単元目標

戸部のまちの人に凧の魅力を伝えたり、願いを込めた連凧を揚げたりするために、とべファンや凧イベントの準備や運営をする活動を通して、相手や目的に合わせて理由付けしながらイベントの方法を選ぶことができ、戸部のまちの人と凧揚げや凧作りを一緒に楽しむことができたのは、凧文化を探究的に学習してきたことの成果であることに気づき、繰り返し凧作りや凧揚げをして目指す凧に近づけることができた自分の成長や凧文化についての理解を深めた自分の変容を自覚しながら、活動を振り返ろうとする。

(2) 小単元の学習活動の流れ

	学習課題 ○学習活動（評価） ・期待する変容＜見取りの視点＞	☆手立て ●教科等との関連
課題をもつ	とべファンや凧イベントの計画を立てよう！ ②	
	○とべファンや凧イベントの目的を再確認する。 ・僕たちの総合の目的は、「凧の魅力を伝えること」「戸部のまちのつながりという願いを込めて連凧を揚げること」の2つだね。 ＜思い・願い＞ ○とべファンや凧イベントに必要なものやことを出し合い、計画を立てる。 ・自分で作った凧や自分がデザインした凧が実際に揚がるととても嬉しいよね。凧作り体験と凧揚げ体験の両方ができるようにしたいな。最後には、まちの人と一緒に作った連凧を揚げたい！ ＜課題の設定＞	☆小単元IVで作成した掲示を振り返りながら、確認するように声をかける。 ☆必要なものやことを洗い出し、共有ノートにまとめる。
追究する	凧の魅力が伝わるイベントを開こう！ ⑧	
	○役割分担をして、とべファンへの準備を進める。 ・私はパーツ作りが得意だからダイヤ凧の部品作りを丁寧にやるよ。～さんの作ったダイヤ凧の説明動画、とても分かりやすいね。やっぱり～さんは説明が上手だな。 ＜協働＞ ○とべファンを開いたり、Sさんにアドバイスをもらったりする。 ・背中に風を感じながら歩くことやだんだんと糸を伸ばしていくことを上手に伝えられたと思うな。好きな文字や絵をかけるように準備したから、オリジナルの凧が揚がってお客さんが喜んでいたらよ。Sさんの言っていた「凧はもっと自由なもの」というのは、どういうことだろう。 ＜情報の収集＞ ○凧作り体験や凧揚げ体験、連凧発表の成果と課題、改善策を話し合う。 ・凧作りも凧揚げも上手に説明ができたし、楽しんでいたらと思う。けれど、～さんの言う通り、作り方も揚げ方も「こうしなきゃダメ」って伝えすぎていたと思うよ。もちろんこつはあるけれど、お客さんが好きなように凧を作ったり揚げたりできるようにしたいな。自由に作ったり揚げたりできるから、凧は楽しいんだよ。 ＜整理・分析、対話＞ ○改善点をもとに準備を進め、凧イベントを開く。（思④） ・基本的なこつは伝えるけれど、教えすぎずにお客さんが自由に作ったり揚げたりできるようにしたよ。困っていたり相談されたりしたときには分かりやすく教えることができたよ。凧作り体験も凧揚げ体験も楽しんでくれたし、連凧が揚がったときのお客さんの歓声がとても嬉しかったな。 ＜まとめ・表現＞	☆これまでの活動を振り返り、自分の得意なことから役割分担ができる機会を設ける。 ☆凧が今の時代まで続いている理由について触れながら、イベント運営へのアドバイスがもらえるように、事前に打ち合わせをする。 ☆内容面に注目して振り返ることができるように、運営面と内容面に分けて振り返る。 ☆凧の本質にふれながら振り返ることができるように、Sさんの話を取り上げる。 ☆凧作りや凧揚げをしているときや連凧が揚がったときのお客さんの様子を撮影しておく。
振り返る	凧イベントを振り返ろう！ ③	
	○自分たちの目的を達成できたか話し合う。（知④、主③） 【小単元VIの学びどころ＜地域＞】 ・凧の魅力って完成したときや揚がったときの達成感だね。それから、空高く揚がっている凧を見ると「きれいだなあ」って感動するよね。それがお客さんに伝わったことがよかったな。連凧が揚がったとき、お客さんみんなが空を見上げていて、見ているときにも「つながり」を感じたよ。大成功したのは、自分たちの努力はもちろん、友達と協力して作ったり、SさんやFさん、区役所の方、戸部のまちの方に支えてもらったおかげだよ。本当に頑張ったよかったな。 ＜自己理解、気づき＞ ○今年の総合を振り返る。 ・凧ってただの昔の遊びだと思っていたけれど、たくさんの魅力が詰まっていることが分かったよ。戸部のまちの人とつながれるすてきな活動だね。5年生でも、戸部のまちの人と一緒に楽しむことができる総合をやりたいな。 ＜思い・願い＞	【小単元VIのしかけ】 ☆自分たちの努力や友達との協力、いろいろな人の支えによって凧イベントが成功したことに気づくことができるように、掲示資料や振り返りカードを見返す時間を設けたり、成功した理由を問い返したりする。 ☆1年間の活動を振り返る中で、凧への認識の変容や戸部のまちの方との関わりのよさについて問い返す。